＊＊＊＊＊＊あなたの町の情報誌＊＊＊＊＊＊

住まいル新聞

日本ステンレス工業株式会社
発行/日本ステンレス工業株式会社
〒409-0617 山梨県大月市猿橋町殿上630-1
電話=0554-22-2500
FAX=0554-22-5234
Vol.165 2013 6月号

大月市における霊場信仰・続 大月市の地名　井上　豊

七【写し観音霊場】続き…

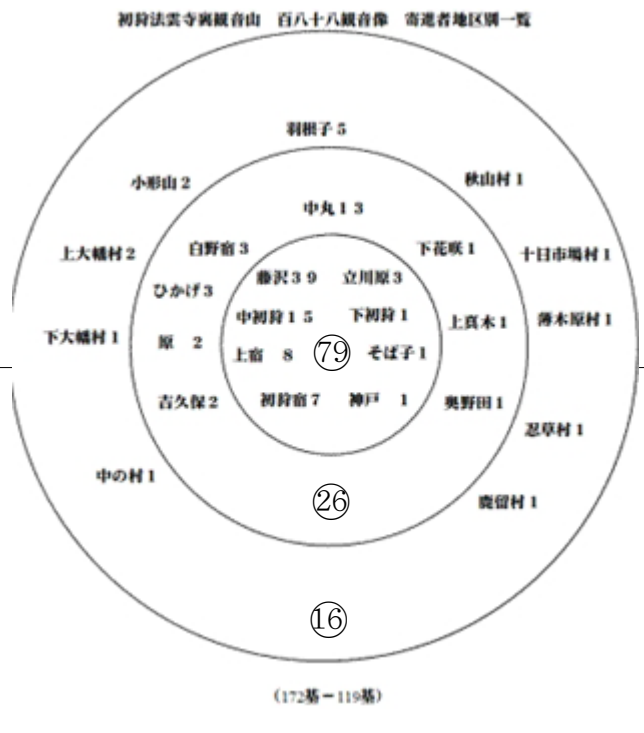
地蔵王像
十二観世音
毘沙門天
大日如来
薬師尊
千手千眼大士
釈迦如来
薬師座像
地蔵願王尊
不動明王
十一面観自在
五鬢文珠尊
不空羂索菩薩
准胝観世音
稲荷明神
大日座像

市内に残されている石碑や石像仏などを通して、私たちの先人がどのような姿勢で霊場信仰にかかわってきたか、関西や坂東、秩父の遠方まで多くの人が旅に出て、その信仰心を全うしたことが、供養碑などから読みとれる。

その裏には、幾多の苦難があったと思われるが、その片鱗さえ見られない。こうした西国や坂東、秩父の霊場に行けない人々のために、郡内の観音霊場が設立され、郡内人の信仰心に大きく寄与したものと思われる。さらにそれさえも困難な婦女子や老人、病弱な人々のために、写し観音霊場が強瀬の妙見山と初狩の観音山に設立され、大いに寄与したであろうことが想像される。

しかし、時代の流れと共に両写し観音霊場は忘れられて、訪れる人の姿が見れられなくなってしまっているのが現状である。

続 大月市の地名



【はじめに】

「大月市の地名」について、前回一〇〇選ということで区切りをつけましたが、「地名に興味がでてきた」、「もっと地名について知りたい」という要望が聞こえてきましたので、続編としていくつか取り上げてみることにしました。今までと重複する点もありますが、それは視点を変えて分析や考察を加えてみました。

またクイズ形式で地名の読み方にも興味をもってもらおうと出題してみましたので取り組んでみてください。

地名に関心をもたれ、地名を大事に後世に伝えていく気持ちがより多くの人々にもたれたら幸いと思い続編を構成してみました。

＊クイズ一＊

次は、大月の市内にある地名です。いくつ読めるか挑戦してみてください。

一、沢頭（真木）
二、辺堀（朝日小沢）
三、寒現橋沢（初狩）
四、幕暗（猿橋）
五、湯立場（藤崎）
六、運庭土（藤崎）
七、神戸北（初狩）
八、黄楽窪（大月）
九、万代原（宮谷）
十、青木原（真木）

沢頭（真木）

一、イ）サワガシラ
　ロ）タクトウ
　ハ）サワンド
　ニ）サワアタマ
二、イ）ヘンボリ
　ロ）ナベボリ
　ハ）ヘンクツ
　ニ）ナベクツ
三、イ）カンゲンハシサワ
　ロ）カゲハサワ
　ハ）カンバサワ
　ニ）サムゲンバシサワ
四、イ）ボアン
　ロ）クラヤミ
　ハ）クレアン
　ニ）ボクラ
五、イ）ユタツバ
　ロ）トウリツバ
　ハ）ユタンド
　ニ）ユリツバ
六、イ）ウナイド
　ロ）ウンテイド
　ハ）ウテイド
　ニ）ウンテイツチ
七、イ）コウベキタ
　ロ）カンベキタ
　ハ）ゴウドキタ
　ニ）カンベホク
八、イ）コウラククボ
　ロ）キラククボ
　ハ）コウガククボ
　ニ）ケサダクボ
九、イ）マョハラ
　ロ）バンダイハラ
　ハ）マンザハラ
　ニ）マダイハラ
十、イ）アオキハラ
　ロ）ホオキバラ
　ハ）オオキバラ
　ニ）セイキバラ

＊古代の大月

縄文から弥生のころ、この大月の地はどうだったのだろう。その様子を知ることのできる手がかりになるものはきわめて少ない。

しかし考古学的な発掘等によって、土器の出土状況をみると、私たちの先祖がこの地で確かにたくましく生きていたことを知ることができる。宮谷に縄文期の住居跡が残っていること、初狩の原平遺跡の発掘によって出土した立派な土器等を見ても、私たちの先祖が遠い縄文の時代にかなり高度な文化をこの地で築きながらたくましく生きていたことを知る。

原平（初狩）

稲作が導入される前の畑作は焼畑などによって、麦、アワ、ヒエ、キビなどが栽培されていた。サスやソウリはその頃の名残を示す地名である。

山や川の形状は昔の姿をとどめている唯一の物的証拠である。それでも悠久の時の流れの中で、この自然も少しずつ変化していることは容認せざるを得な

次ページに続く

地名の由来 歴史探訪

続　大月市の地名

井上　豊

は容認せざるを得ない。その時々に生きた私たちの先祖が、生活と交易の中で公共の目印や目標点としての地名を生み出した智恵を尊びたい。生きるため、交易するために数百キロの地点まで交流交易したことが検証されている。地名はその地に生きる人たちのためだけではなく、部外者にとっても重要な目印となる地点であった。

一【山にかかわる地名】

山は川と共に古代の様相をいまに伝えるきわめて確かな存在である。何十万年も前、地球生成の躍動の時を経て形づくられた古代の形状を今に伝える唯一の存在である。山裾のひだは褶曲と冷却の結晶である。悠久の時の流れの中で、山は草や樹木の生成によって今の様相を現出したのである。古代の人々は、山の神秘や荘厳さにむかって謙虚な祈りを捧げて、恵みの慈悲を求めたのである。ヤマの呼称がほとんどで六九、サンの名称が十一、タケが一となっている。その区分けは不分明であるが、ヤマは大和ことばで、サンとタケは渡来系の人々が強調した呼称ではないかと想像される。私たちの祖先は渡来人との融和、融合の中で地域の生成と発展をともにになってきたのである。

イ）ヤマ・・向山・上之山・小山（笹子）・小山・山田和・向山・山中沢・近ヶ坂山（初狩）・浦山・仲山（大月）・峰山・松山（花咲）・小山・原上山・前沢山・上ノ山・柴子山・中山・梅久保山（真木）・奥山（奥山）・沖峯山・向山・峯山・下井山・山下・上井山（畑倉）・西山・山下（強瀬）・穴観音山・百蔵山・金山・遠山（下和田）・麓山・山下・峯山（瀬戸）・寺山・秋日山・向山・上山・山口・大葉山（猿橋）・山岸・片山・山ノ根・城ノ山（藤崎）・大栗山（殿上）・山ノ神戸（小沢）・上ノ山（小篠）・向山・西山・扇山（鳥沢）・下山王・白山・小山・松山・扇山・上山王・山梨・小山久保・峰山（宮谷）・山中・下山・上ノ山・上山（塩瀬）・山伏下（立野）・裏山（綱ノ上）・下山保呂・裏山（新倉）

扇山（鳥沢）

ロ）サン・・林宝山（大月）・高尾山道上・高尾山道下（真木）・岩殿山（岩殿）・おくさん・おくさん正沢・おくさん穴あき・おくさん用沢入・おくさんニカイ谷（奈良子）・山谷・山谷上林（鳥沢）

ハ）タケ・・南風岳（小篠）

二【川にかかわる地名】

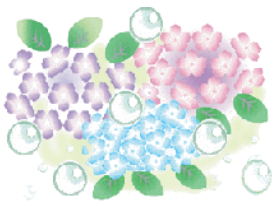
水は生活にとって必須の要件である。その水を供給してくれるのがカワである。イズミもイドもあるが本来的にはサワミズそしてカワからの給水である。沢や谷、カワの周辺に人々は居住し生活圏を拡大していった。その跡を地名でたどってみると…

イ）カワ・・川向・川久保（初狩）・川久保（大月）・川隣（強瀬）・川久保（淺川）・カワトウリ（林）・川ツ畑（瀬戸）・川越草履（藤崎）・川能戸横道上・川能戸横道下（殿上）・川志久保（小沢）・川除（塩瀬）

・・前川・白野川向（笹子）・小佐ノ川・八ッ田川・西川向・高川山（初狩）・下川戸（花咲）・下川（奥山）・下川（畑倉）・小俣川（瀬戸）・淺川（猿橋）・横川（朝日小沢）・下川戸・上川戸・添川戸（宮谷）・天神川（塩瀬）・栃川（新倉）

ロ）カワラ・・川原田・川原ザス（真木）・カワラサス（林）

・・立川原・立川原東（初狩）・中川原（真木）・中川原（岩殿）・井山川原（畑倉）・向川原（強瀬）・東川原（淺川）・田川原（猿橋）・下河原（殿上）・江戸川原・田川原（小沢）・小川原・押出川原（宮谷）



下河原（猿橋）

ハ）カワ・・河上沢（猿橋）・下河原・越岡下河原（初狩）

ニ）ミズ・・ミズヒ・水アビト（塩瀬）・清水（大月）

川は弥生時代になり稲作が導入されるようになると、ますます重要性を増すようになった。最初に取り上げたように、サワ、ハラ、クボのサワが大月の地形的な様相だけでなく、この地で生きていくためには縄文、弥生の時代からミズを有効に利用し活用することで私たちの先祖は生きてきたのである。河の文字が三か所で使用されているが、広い狭いという厳密な感覚での使用ではないようである。

七月号へつづく…

提供者募集

大月市の写真や以前の風景が写った写真を持っている方を探しています。もし持っている方で、写真を貸して下さる方がいましたら下記の電話番号までお知らせ下さい。ご協力宜しくお願い致します。

住まいル新聞編集部
TEL：0554-22-2500